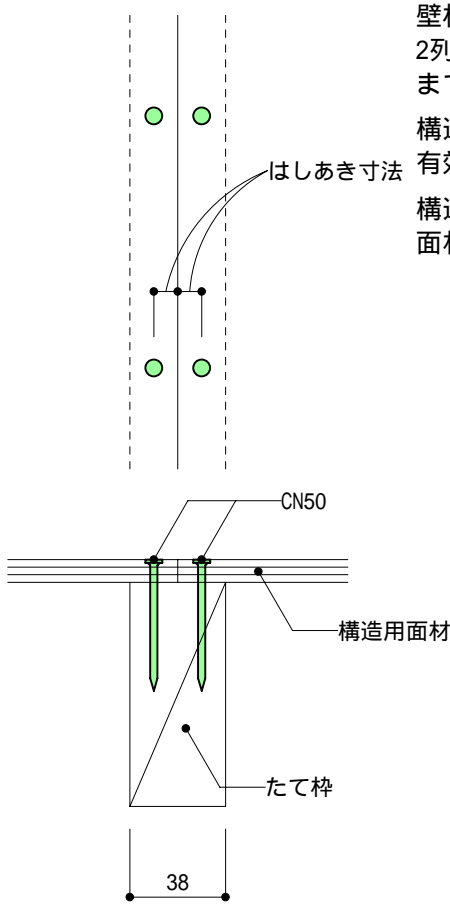


01 構造用面材のくぎ打ちの留意点

Ver1.00

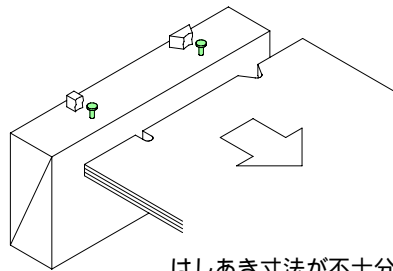
01 - 1 はしあき寸法に注意



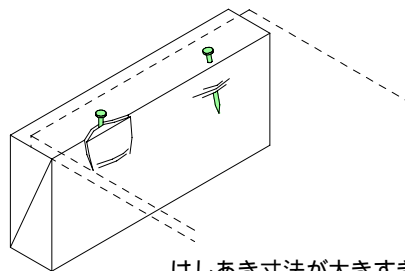
壁枠組への構造用面材張りは、38mm幅のたて枠に2列のくぎを打つので、面材端部からくぎ打ち部分までのはしあき寸法に注意が必要です。

構造用面材およびたて枠に割れなどが生じないように、有効幅の中央にくぎ打ちが行われるよう配慮します。

構造用面材がたて枠の中央で割付けられるように、面材張りの割付け精度も重要になります。



はしあき寸法が不十分な場合、面材に割れや切断が発生するおそれがあります。



はしあき寸法が大きすぎる場合、たて枠に割れが発生したり、くぎの抜けが発生するおそれがあります。

ポイント

割れや切断が生じないように、適正なはしあき寸法を確保する。

構造用面材張り割付けの精度に注意する。

止むを得ず片寄った場合は、打ち直し、打ち増し、添え木補強等を考慮する。

「04 - 5 添え木による補強」を参照